

令和3年 大館市の10大ニュース

順位	項目	説明
1	5月6日から市役所新庁舎で業務を開始	5月6日から新庁舎での業務を開始。新庁舎は「市民に親しまれ、安心して暮らせる、街の拠点となる庁舎」を基本理念に建設。防災の拠点とし、市民のニーズに一層迅速に応えるため、庁舎内へ新たに福祉部、産業部、観光交流スポーツ部を配置した。
2	県内初。ゼロカーボンシティ宣言	2月16日 企業や家庭から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを減らし、森林による吸収分などと相殺して実質的な排出量をゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を県内で初めて行った。10月には、脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者、行政が一体となって取り組むための計画「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に着手した。
3	最大1日7,500人規模の新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種を実施	ニプロハチ公ドームを会場に、6月から8月にかけて1日4,000人から7,500人規模の、過去に例を見ない大規模集団接種を実施。同会場では約4万6,000人の市民が2回の接種を終了した。医師会・薬剤師会・看護協会・民間企業・地元学生等の協力のもと、全市を挙げて早期接種を実現した。
4	大館駅インランドデポ推進協議会を設立	大館貨物駅を拡張し、コンテナヤードや保税蔵置場などを整備する「大館駅インランドデポ構想」を支援するため、企業、地元団体、行政の連携による大館駅インランドデポ推進協議会を12月10日に設立した。この取組により、北東北及び北海道の物流が変革し、域内企業の競争力向上や地域への大きな経済波及効果が見込まれる。
5	スポーツコミッション大館を設立	スポーツと観光を結び付けたスポーツツーリズムの推進による地域活性化、運動機会の創出による市民の健康や生きがいづくりの促進を目的として、官民連携組織スポーツコミッション大館を設立し、ランニングクリニックやサッカー教室、バスケットボール教室などを実施したほか、アウトドアアクティビティの創出に取り組んだ。
6	全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会「ふるさとキャリア教育が創る教育のイーハトーヴ」を開催	第4回全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会が、市内小中学校5校とほくしか鹿鳴ホール、中央公民館で10月29～30日の2日間開催された。各校の公開授業や実践発表、研究協議などを行い、大館ふるさとキャリア教育を全国の教育関係者に発信。コロナ禍の中での全国大会であったが、参加者からはおおだて型学力や子ども達の学びの姿、教師の授業力が絶賛された。
7	心臓カテーテル治療の開始	総合病院において、循環器内科医師の増員配置により、5月から心臓カテーテル治療を開始。10月からは、24時間体制での緊急手術に対応するなど、患者の救命率向上につながっている。
8	市制施行70周年記念式典を挙げる	10月22日、ほくしか鹿鳴ホールを会場に市制施行70周年記念式典を挙げる。式典には神部副知事をはじめとする来賓と多数の市民が参加し、市功労者表彰、行政協力員表彰を行ったほか、本市出身の弦楽器製作者である松田鉄雄氏から市へ寄贈された楽器を使用した「ハナミズキ室内合奏団」による記念演奏会も行われ、式典に花を添えた。
9	御成町南地区土地区画整理事業の建物移転が全て完了	平成18年度に事業着手以来、今年3月で対象建物158戸の建物移転が全て完了した。現在、令和6年度の事業完了に向け、無電柱化や歩道融雪装置の整備などを進め、区画整理事業区域を母体とする中心市街地の賑わいの創出と暮らしの高質化を目指している。
10	先導的共生社会ホストタウンとしての取り組み	福島市で開催された全国の共生社会ホストタウンサミットに参加し、市長や地域おこし協力隊がタイ王国との交流事例を発表した。また、東京パラリンピックにおけるタイ王国との様々な交流事業が評価され、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣から「ホストタウン交流表彰」を受けた。
10	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに、地域経済や住民生活の支援など、地域の実情に応じた事業をきめ細やかに実施するため、令和3年度は国から約5億8,400万円の交付決定を受け、木材サプライチェーン強強化事業やプレミアム付商品券事業、事業継続力強化事業、泊まってとくとく宿泊事業、大館の食タクシー事業、特産品送料助成事業、学生応援ふるさと便事業などの緊急経済対策を切れ目なく実施した。
10	「つどいの広場ひよこ」が専用施設へ移転	有浦児童会館で行っていた「つどいの広場ひよこ」をパークセンターに移転し、開設時間を延長した。自然豊かな環境や時間延長も好評で、学校の長期休業期間も場所を移動することなく開設できることもあり利用者が増加している。
10	大館市総合福祉センターに福祉相談機能を集約し、併せて地域活動支援センターを開設	福祉事務所の新庁舎移転に伴い、大館市総合福祉センターに福祉まるごと相談支援室、ひきこもり相談室、基幹相談支援センター、県北障害者就業・生活支援センター、子ども発達相談室などの福祉相談機能を集約し、併せてサロン併設型の地域活動支援センターを開設した。
10	日露合作映画「ハチとバルマの物語」の大館先行上映に当たり、アリーナ・ザギトワさんが来市し、舞台挨拶	日本とロシアの共同制作映画で、秋田犬の里で多くの市民に協力いただき撮影が行われた、「ハチとバルマの物語」の大館市先行上映に、平昌五輪フィギュアスケート金メダリストのアリーナ・ザギトワさんが来市し舞台挨拶を行った。また、当映画がロシアで開催された「オレンブルグ国際映画祭」に出品され、「人と犬の演技作品賞」を受賞した。
10	青ガエルがメイクアップショー一般開放	青ガエルメイクアッププロジェクトにより、全面塗装や補修を行った青ガエルを秋田犬の里へ設置した。感染症対策として抗菌加工を施した上で、4月8日に一般開放した。渋谷区との交流のシンボルであり、本市の新たな観光スポットとして多くの方に見学いただいた。
10	大館市で56年振り聖火リレー	東京2020オリンピック競技大会の開催に先駆け、全国各地において、聖火リレーが行われた。本市では、6月9日に市役所本庁舎からゴールの秋田犬の里駐車場までの3.35kmを15人のランナーが駆け抜けた。最終ランナーは、昭和39年の東京オリンピック体操競技の銅メダリストである千葉吟子さんが務めた。
10	大館市石田ローズガーデンがリニューアルオープン	平成30年に寄贈された石田邸の改築や外構工事など、ローズガーデン全体の大規模改修を終え、大館の魅力体験できる洋の迎賓館として、5月31日にリニューアルオープンし、一般開放した。開場を待ちわびていた多くの方々に来場いただいた。
10	スポーツ庁長官表彰を受賞	スポーツ庁が新たに創設した「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」に大館市の「スポーツ・健康まちづくり計画」が選定され、スポーツ庁の室伏広治長官から表彰を受けた。東京2020オリンピック聖火リレーの実施やタイ王国ホストタウンでの取り組みが評価されたもの。